



あいかわ 議会だより

第 153 号

平成29年5月15日発行

責任者 議会議長 小島 総一郎
年4回発行・本号18ページ



第14回あいかわ公園つつじまつりのステージ

各会計の新年度予算を可決

P 2

愛川町出張所設置条例の廃止など6条例を可決

P 4

好評につき 議会クイズの当選者を
3名に拡大!!

P 18



©愛川町

※町議会では議会だよりに使用する写真を募集しています。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。〈第1回3月定例会〉

○発行/愛川町議会 編集/議会だより編集委員会 〒243-0392 神奈川県愛甲郡愛川町角田251-1 046-285-6927(直通) 046-285-2111(代表)

議会メールアドレス gikai@town.aikawa.kanagawa.jp 町HPアドレス <http://www.town.aikawa.kanagawa.jp/>

平成29年第1回愛川町議会「3月定例会」は、3月1日から24日まで、会期24日間（本会議開催日6日間）にわたり開催されました。
この定例会では、条例の制定及び一部改正をはじめ、新年度予算や補正予算、監査委員の選任など、合計で20件の町長提出議案を審議し、全議案を可決するとともに、人権擁護委員候補者の推薦及び陳情3件の審議を行いました。

本号では、これら「3月定例会」の内容を中心にお知らせします。

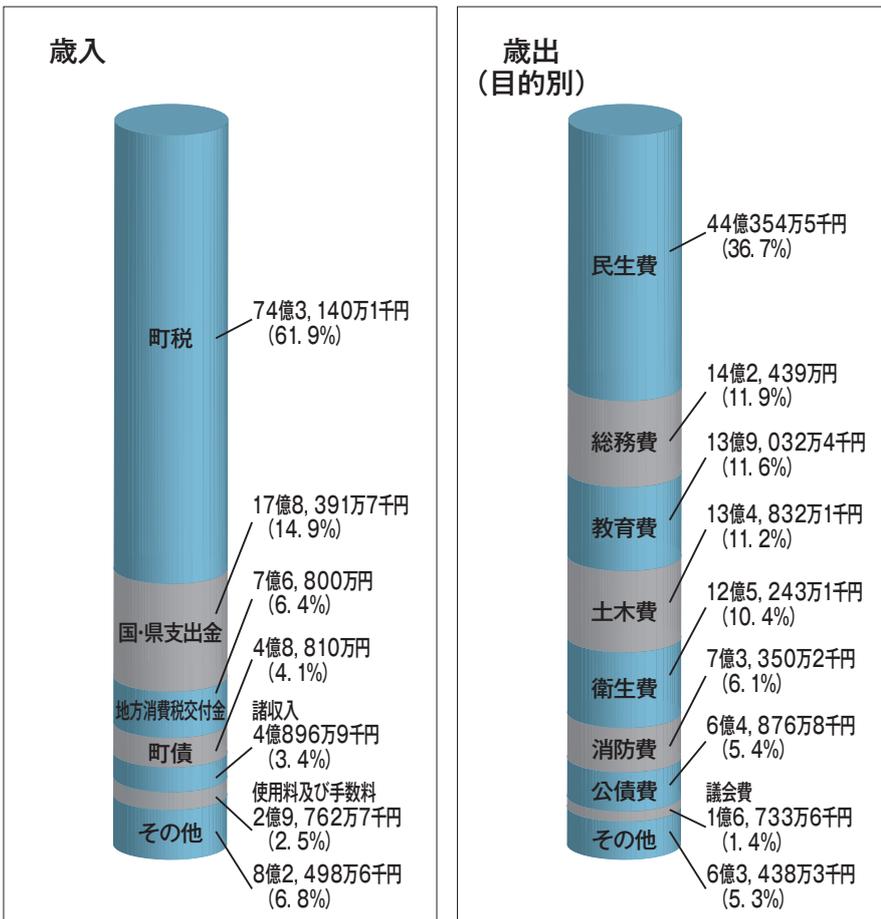
総額238億6千100万円
平成29年度当初予算を可決

- 一般会計予算
 - 国民健康保険特別会計予算（以上賛成全員）
 - 後期高齢者医療特別会計予算
 - 介護保険特別会計予算（賛成12人、反対3人）
 - 下水道事業特別会計予算
 - 水道事業会計予算（以上賛成全員）
- ※議長は表決に含まず。

《各会計予算額》

会計名	予算額	構成比	前年度比	
一般会計	120億 300万円	50.3%	△2.5%	
特別会計	国民健康保険	65億1,000万円	27.3%	1.9%
	後期高齢者医療	4億 600万円	1.7%	0.2%
	介護保険	27億 700万円	11.3%	△1.0%
	下水道事業	12億8,700万円	5.4%	△5.2%
	小計	109億1,000万円	45.7%	0.2%
企業会計	水道事業	9億4,800万円	4.0%	△1.5%
合計	238億6,100万円	100.0%	△1.2%	

平成29年度一般会計予算の構成



平成29年第1回3月定例会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
3	1	水	本会議	監査委員の選任、陳情3件の所管常任委員会への付託、町長施政方針演説・提出議案の説明
	2	木	本会議	一般質問（6人）
	3	金	本会議	一般質問（6人）
	7	火	本会議	補正予算・事件関係議案の個人総括質疑・討論・採決
	8	水	本会議	施政方針・条例・新年度予算に対する会派代表質問、委員会分割付託の決定
	9	木	総務建設常任委員会 教育民生常任委員会	付託案件の補足説明・現地調査
	13	月	総務建設常任委員会	付託案件の現地調査
	15	水	教育民生常任委員会	付託案件の審査
	16	木	総務建設常任委員会	付託案件の審査
	17	金	教育民生常任委員会	付託案件の審査
	21	火	総務建設常任委員会	付託案件の審査
	24	金	本会議	付託案件の審査結果の委員長報告・質疑・討論・採決

会派 議決一覧表 (平成29年第1回3月定例会)

※議長は表決には加わりません。 各会派賛否 ○…賛成、●…反対

議案番号	議案の件名	愛政クラブ	公明党	みらい絆	共産党	新風あいかわ	議決結果
		小倉議員 馬場議員 山中議員 熊坂弘久議員	井出議員 佐藤りえ議員 岸上議員	熊坂崇徳議員 小島議員 木下議員	小林議員 井上議員 鈴木議員	渡辺議員 佐藤茂議員 阿部議員	
町長提出 第1号	監査委員の選任について	○	○	○●	○	○	同意
町長提出 第2号	愛川町出張所設置条例を廃止する条例の制定について	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第3号	愛川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第4号	愛川町職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び愛川町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第5号	愛川町手数料条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第6号	愛川町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	●	○	可決
町長提出 第7号	愛川町指定地域密着型サービス及び指定地域密着型介護予防サービスの事業に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第8号	平成28年度愛川町一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第9号	平成28年度愛川町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第10号	平成28年度愛川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	●	○	可決
町長提出 第11号	平成28年度愛川町介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第12号	平成28年度愛川町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第13号	平成29年度愛川町一般会計予算	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第14号	平成29年度愛川町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第15号	平成29年度愛川町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	●	○	可決
町長提出 第16号	平成29年度愛川町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第17号	平成29年度愛川町下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第18号	平成29年度愛川町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第19号	町道路線の廃止について	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第20号	町道路線の認定について	○	○	○	○	○	可決
陳情 第1号	国に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	○	○	○	●	○	趣旨了承
陳情 第2号	神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	○	○	○	●	○	趣旨了承
陳情 第3号	平成29年度からの特別徴収額の決定・変更通知書に受給者の個人番号を記載する件についての陳情	●	●	●	○	●	不採択

※陳情第1号、第2号は、委員長報告「趣旨了承」に対する賛否です。

人事議案

◎監査委員の選任

(賛成多数)

任期満了に伴い、引き続き次の方を選任することに同意しました。

中津在任

馬場 正行 氏

◎人権擁護委員候補者の推薦に係る意見

(賛成全員)

現委員の任期が、平成29年6月30日をもって満了するため、後任として

次の方を適任と認めました。

三増在任

小島 典子 氏

半原在任

大貫 昭子 氏

条例関係

◎愛川町出張所設置条例の廃止

(賛成全員)

「半原出張所」及び「中津出張所」については、経年による施設の老朽化が進み、今後の維持管理経費の増大が見込ま



廃止される半原・中津出張所

れる一方で、利用者が減少している状況にあること等から当該施設を廃止し、その機能の一部を「半原公民館」及び「中津公民館」に統合するため、本条例の廃止を可決したものです。

【施行期日】平成29年10月1日

◎愛川町職員の給与に関する条例の一部改正

(賛成全員)

人事院勧告等を踏まえ、一般職の職員の配偶者に係る扶養手当の額を、段階的に父母等の扶養親族と同額とし、子に係る扶養手当の額を引き上げる一部改正条例を可決したものです。

【施行期日】平成29年4月1日

◎愛川町職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び愛川町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

(賛成全員)

「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法

律」及び「地方公務員の育児休業等に関する法律」の一部改正に伴い、働きながら育児や介護がしやすい環境整備を進めるため、育児休業等の対象となる子の範囲の拡大や介護休暇の分割取得など、地方公務員の育児支援・介護支援に関する見直しが行われたため、所要の改正を行う一部改正条例を可決したものです。

【施行期日】平成29年4月1日

◎愛川町手数料条例の一部改正

(賛成12人、反対3人)

「神奈川県屋外広告物条例」の一部改正に伴い、町条例で引用する屋外広告物の表示等に係る許可申請手数料の額等が改められたことから、所要の改正を行う一部改正条例を可決したものです。

【施行期日】平成29年10月1日

補正予算

◎平成28年度一般会計補正予算(第3号)

(賛成全員)

歳入歳出予算の総額から4,913万円を減額し、一般会計の総額を124億6,558万2千円とするものです。

主な内容は、個人番号カードの作成に係る地方公共団体情報システム機構への負担金の減額や、臨時福祉給付金等の事業費の減額などによるものです。

◎平成28年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

(賛成全員)

「介護保険法」の一部改正に伴い、県が指定する通所介護のうち、利用定員が18人以下のものは「地域密着型通所介護」等として町が指定する地域密着型サービスに位置付けられたことから、所要の改正を行う一部改正条例を可決したものです。

【施行期日】公布の日

◎平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

(賛成12人、反対3人)

◎平成28年度介護保険特別会計補正予算(第2号)

(賛成12人、反対3人)

◎平成28年度下水道事業特別会計補正予算(第2号)

(以上、賛成全員)





今回認定された道路（田代地内）

止
 ◎町道路線の認定及び廃
 道路法の規定により、
 一部が一般交通の用に供
 する必要がなくなった路
 線や新たに町道として管
 理する必要が生じた路線
 について、町道路線の廃
 止及び認定をするもので
 す。
 今回は、田代地内1路
 線の廃止及び田代地内、
 坂本地内、細野地内、両
 向地内4路線を新たに認
 定しました。

事 件 関 係

件 名	陳情者	付託先	審査結果
国に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	神奈川県横浜市中区桜木町3-9 横浜平和と労働会館4階 神奈川私学助成をすすめる会 代表 長谷川 正利	教 育 民 生 常 任 委 員 会	趣旨了承
神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	神奈川県横浜市中区桜木町3-9 横浜平和と労働会館4階 神奈川私学助成をすすめる会 代表 長谷川 正利	教 育 民 生 常 任 委 員 会	趣旨了承
平成29年度からの特別徴収額の決定・変更通知書に受給者の個人番号を記載する件についての陳情	神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町 2-23-2 TSプラザビルディング2階 神奈川県保険医協会 理事長 森 壽生	総 務 建 設 常 任 委 員 会	不 採 択

請 願 ・ 陳 情 の ゆ く え

総務建設常任委員会 行政視察を実施

総務建設常任委員会で
 は、平成29年1月24日
 (火)及び25日(水)の
 2日間、行政視察を実施
 しました。

詳細は次のとおりです。

◎愛知県新城市

「新城市若者議会につ
 いて」

●事業の概要

平成27年に、日本で初
 めて条例で若者議会を定
 めました。若者自らが予
 算の用途について考えて
 いくことや、市長への答
 申及び市議会の承認を得
 て現実に執行していくこ
 となどの仕組みが作り上
 げられています。

●主な施策

第1期若者議会では、
 図書館の郷土資料室に展
 示機能を生かした多目的
 利用空間を作ることに
 よって、多くの市民の生
 活の一部に図書館が選択
 されることを目的とする
 「ふるさと情報館リノ

バージョン事業」など、
 6つの事業が、平成28年
 度に市の事業として実際
 に着手されました。

◎静岡県島田市

「ゆめ・みらい百人会議
 について」

●事業の概要

幅広い分野から参加す
 る市民主体のまちづくり
 を推進するため、年齢や
 性別、社会的な地位や立
 場を離れ、島田市の未来
 を自由に語り合い、まち
 づくりへの夢を描く場と

して設置されました。

●主な施策

テーマを元に7つの分
 科会を設置し、関係機関
 などと議論を交わし、現
 状の分析を行いました。
 主な活動内容について
 は、ギネスに認定された
 世界最長の木造人道橋で
 ある蓬萊橋にスポットを
 当て、「おもてなし大作
 戦事業」を実施するなど、
 観光面でのPRを推進し
 ていく「観光分科会」な
 どがあります。



新城市で「若者議会」について視察

こいは どぶなりの

一般質問



振り込め詐欺等 状況と防止対策

小倉 英嗣議員

問

振り込め詐欺等の特殊詐欺については県内でも被害が増加しています。本町の状況を伺います。また、葉山町では高齢者に被害防止用の自動録音装置の設置助成を行っています。本町への導入について考えを伺います。

14件1億3千万
効果注視し検討

町長 過去5年間の被害総額は約1億3千万円です。オレオレ詐欺や架空請求詐欺など、14件発生しています。

民生部長 葉山町の事業は県内で初の取り組みで

す。事業効果を注視していききたいと考えています。

省エネ節電対策 削減の見込み額

問

地球温暖化防止を踏まえ、以前から強く要望しているPPSの積極導入も含めた今後の省エネ・節電対策及び削減見込み額について伺います。

庁舎等のLED化
年間3,500万円

町長 役場庁舎や防犯灯のLED化をはじめ、平成24年度から安価な電力をPPSから購入し、現在までに22施設に導入したところです。今後も、省エネ節電対策を進めていきたいと考えています。

管財契約課長 東京電力の単価に置き換えて試算した金額と比較すると、年間約3,500万円の削減を見込んでいます。

その他の質問事項
有害鳥獣対策について



自治会の加入促進 成果と今後の課題

阿部 隆之議員

問

自治会への加入は災害時の共助の基礎となることや、隣近所の顔が見えることで、安心して生活できるようにになります。そこで、今回実施した強化月間の成果と今後の課題について伺います。

多くの新規加入
理解必要と認識

町長 最大で20世帯以上の新規加入があった一方、説明を尽くしてもご理解いただけないケースもありました。粘り強い取り組みの中で、理解を深めていくことが必要であると認識しています。

関係機関と連携
近隣参考に研究

いじめ対策は家庭と地域で

問

厚木市では「いじめ防止対策推進法」第14条第3項に基づき「厚木市いじめ防止対策委員会」が設置されており、現在11名の委員の中にはPTA関係者が2人入っています。本町にもPTAの代表や、地域の方と協議するための委員会があるべきと考えますが、教育長の考えを伺います。

教育長 いじめ防止の対策を実効的に行うために、いじめ問題対策連絡協議会、小・中・高連絡協議会、相談関係事業連絡協議会などで、学校や関係機関と連携しています。

第14条第3項の組織の設置については、今後は近隣の状況等を参考にしながら研究していききたいと考えています。

その他の質問事項
インターネットセキュリティ教育について



自治会の加入促進チラシ

町長 道路後退用地に係る制度においては、厚木市では用地費に加え、測量費や物件除去費を負担することとするなど、各市町村の対応は様々となっています。町の財政状況などもあることから、現時点では提言として受けとめます。

各市町村での対応 財政状況等も考慮

問 狭あい道路解消には、道路後退用地の測量費や物件除去費を町で負担することが重要です。町長の考えを伺います。

**狭あい道路解消
費用負担を町で**



渡辺 基議員



狭あい道路の解消へ向けて

町長 林業は担い手の高齢化が深刻化し人材育成を目的に設置された大学校は平成23年には全国に6校でしたが、現在14校29年度は3校が開設計画です。誘致は先を見据えることが求められ、県などの意向を踏まえることが必要と考えます。

全国で増加傾向 県の意向が必要

問 人工林が伐採期を迎え木材需要が増えます。本町は首都圏も近く魅力的です。そこで林業大学校誘致の考えを伺います。

**県立林業大学校
町に誘致の考え**



山中 正樹議員

パブリックコメントの見直し

問 パブリックコメント(意見公募手続)制度を見直す考えについて伺います。

意見を述べる機会 制度変更考えなし

総務部長 現行の制度については、特に町民生活に大きな影響を及ぼす「町の基本的な政策等」を対象とすることを原則

としています。その基本的な政策等の決定前の段階で、町民等が意見を述べることのできる機会を確保する制度となっています。本制度が十分に機能を果たすことができるよう、引き続き意見を提出しやすい環境を整えながら適切に運用していくことが望ましいと考えているため、制度の見直しを行う考えはありません。

町長 認定こども園は、就学前の子どもを対象に、教育と保育を一体的に提供することを目的とした

教育と保育一体で 来年4月開所予定

問 平成30年に幼稚園に移行する予定です。そこで、認定こども園と幼稚園・保育園との違いと、移行スケジュールについて伺います。

認定こども園の内容と移行

施設で、幼稚園と保育園の機能を併せ持ちます。

給付対象や保育の必要性確認のため、市町村の「教育認定・保育認定」が必要となり、保育料決定にも違いがあります。

子育て支援課長 町と幼稚園との協議を行い、認可をする県とも具体的な調整を行っていきます。

平成30年3月までには設置認可を受け、4月に開所する予定です。



長野県林業大学校



LGBTの教育 児童生徒も重要

鈴木 信一議員

問

性的マイノリティ（LGBT）の権利保障については、教職員の研修だけでなく、児童・生徒に対する教育も重要と考えます。今後の取り組みについて伺います。

人権教育と認識

適宜適切な対応

教育長 性的マイノリティについては、児童・生徒が身近なこととして認識する必要があり、大切な人権教育の一つと考えられています。今後、各学校の実態も含めて適宜適切な対応をしていきます。



生活再建支援で滞納解決

問

近年、町税を滞納することによる差し押さえ件数が増え続けています。納税者の生活再建支援の立場で、滞納問題の解決を図る取り組みについて伺います。

資力状況を把握し 税の公平性を保持

町長 病気などの特別な事情によって町税を納付できない方については、分割納付で対応するなど、

必要に応じて適時適切な判断を行っております。日々の生活が厳しい中でも、納税をしていただいている方もある中、税の公平性を保持することが自治体の使命です。

今後も、徴収業務を行っている税務課と国保年金課で滞納が重複している場合などは、互いに連携を密にし、生活状況や資力等の把握に努めながら徴収業務を行っていきたいと考えています。

後発医薬品普及 取り組みと課題



岸上 敦子議員

問

ジェネリック医薬品の普及促進の現在の取り組み状況と、今後の課題について伺います。

差額通知を発送 情報周知が必要

町長 血圧降下剤など11種類の薬剤を対象にジェネリックに切り替えた場合、自己負担が1ヶ月で500円以上安くなる方へ差額通知を発送しています。今後は医薬品に関する正しい情報を周知することを目的に出前講座を活用するなど、普及促進に努めていきます。

福祉避難所の周知方法

問

福祉避難所の周知方法について伺います。

防災マップで表示 3施設に看板設置

町長 福祉避難所として、半原公民館、中津公民館及び町福祉センターの3施設を指定しています。自治会を通じて全戸配布している防災マップへの福祉避難所の位置表示を

はじめ、防災マップの町ホームページへの掲載のほか、3施設の入り口付近に福祉避難所であることを示す看板をそれぞれ設置し、周知を図っていきます。引き続き、町ホームページや広報紙、各種訓練などを活用し、福祉避難所の位置や役割、利用可能な対象者などの周知に鋭意努めていきたいと考えています。



福祉避難所に指定されている中津公民館

町長 今後、消防団員定数そのものの検証を行うとともに、事業所による機能別消防団の創設、若年層の人材育成など多方面から検討する必要があります。と認識しています。

団員定数を検証 多方面から検討

問 現在、消防団員の定数に対し40名が欠員となっています。消防団員の数や、消防団再編などを検討する必要があります。今後の「在り方検討会」の設置に対する対応を伺います。

消防団の再編 在り方検討会を



井上 博明議員



年始に行う消防出初め式

マニュアルを作成 広報啓発に努める

- 町長 町では、差別解消等の有効活用について
- ①まちづくり支援策について
 - ②用途廃止後の町有施設
- ＜その他の質問事項＞

問 平成28年4月に障害者差別解消法が施行され、障害者への差別の禁止と合理的配慮の提供が地方公共団体に義務付けられました。そこで、これまでの本町の取り組みについて伺います。

障害者の差別禁止と配慮

さらに、消防団と連携を図りながら、よりよい方向に進むように、努力していきたいと考えています。

の推進に関する対応要領や窓口等における配慮マニュアルを作成し、全庁的な取り組みを進めています。また、差別等への相談・差別解消や権利擁護の推進のための広報啓発に努めています。

町長 圏央道開通に伴い、車での日帰りが容易になった群馬県や埼玉県等の北関東方面を含めた関東近郊エリアを主なターゲットとして、新たな観光客を誘致するためのPRに努めていきたいと考えています。

関東をターゲット 観光客誘致努める

問 本町の知名度を上げて観光客を呼び込むためには、県外にも目を向けていく必要があります。町をPRする対象エリアの考えについて伺います。

町知名度向上へ PR対象エリア



木下 眞樹子議員

町長 圏央道開通に伴い、車での日帰りが容易になった群馬県や埼玉県等の北関東方面を含めた関東近郊エリアを主なターゲットとして、新たな観光客を誘致するためのPRに努めていきたいと考えています。

町内産長ネギなど 地産地消更に推進

町長 今後とも、さまざまな角度から検討を加え、学校給食における地産地消をさらに推進していきたいと考えています。

問 学校給食に地産地の野菜などを使用することは、食育の面からも大変有意義なことであると考えます。そこで、平成28年度の給食で使用された町内農産物について伺います。

給食に地場産農産物使用



町の新しいPR動画ホームページで公開中

また、お米についても、調達先の神奈川県学校給食会を通じて、極力町内産米を優先的に納入するよう依頼しているところですが、平成29年度からは、県史愛川農協との提携により、町内産の「愛ちゃん米」の使用を積極的に進めていくこととしています。



地域の人的資源 学校と連携活用

佐藤 りえ議員

問

学校と連携し地域の人的資源と教育力を最大限に活用し、必要な学力をすべての子どもへ身につけさせるべきですが、考えを伺います。

土曜寺子屋事業 豊かな教育環境

教育長 平成29年度から住民提案型協働事業として、経済的理由等で塾に通えない児童・生徒への支援を行う「土曜寺子屋事業」を行います。地域と一体となり、豊かな教育環境を整えていきたいと考えています。

空き家の詳細な実態調査

問

老朽化による倒壊や衛生環境の悪化など、住民生活に深刻な影響を及ぼす空き家の詳細な実態調査について伺います。

316棟を把握し 不適正管理が21棟

町長 調査対象の398棟のうち、空き家ではなくなった物件が82棟あり、現在316棟の空き家を把握しています。愛川地

区が133棟、高峰地区が48棟、中津地区が135棟となっています。実態調査の結果、軒天の損傷など、手入れが行き届いていない不適正管理の空き家が21棟ありましたが、空き家対策特別措置法に基づく「特定空き家」に該当する物件はありませんでした。〈その他の質問事項〉投票率向上の取り組みについて



「空き家バンク」に登録されている空き家



観光地として 環境整える考え

小林 敬子議員

問

観光地として多数来訪していただくために、臭気対策を行い、環境を整える必要がありますが、考えを伺います。

臭気対策効果あり 発生時は原因究明

町長 各畜産事業者は臭気対策に取り組んでおり、一定の効果が現れていると認識しています。特定の気象条件で、臭気が感じられた場合には、町職員が直ちに発生源を確認し、畜産事業者へ原因の究明や必要な対策を講ずるよう指導しています。

保育園待機児童の定義

問

平成29年2月の第1回目の保育園入所決定の結果では、待機児童はいないとのことでした。しかし、実際には入所できなかった方がいました。待機児童の定義について伺います。また、国の待機児童の定義の見直しについて伺います。

入所保留児童区分 国では見直し中

子育て支援課長 保育園に入所できない方は、「待機児童」と「入所保留児童」の区分に分けられます。保護者が求職活動をしていない場合や、育児休暇の取得期間中は待機児童として取り扱いはしていません。こうしたことから、国において待機児童の定義を実態に即した内容にすべく、現在見直しを進めている状況となっております。



待機児童の解消へ向けた取り組みを

教育長 いずれの施設も照明灯があり、ナイター照明でも公園内を明るくしています。ジョギングにあたっての照度は確保できていると考えます。今後、適切な運用に努めていきたいと考えています。

照度は確保済み 適切運用に努める

問 夜間照明について、第1号公園などのジョギングコースを明るくする必要を感じています。スポーツ施設等に夜間照明を設置する考えについて伺います。

施設等夜間照明 明るくする必要



佐藤 茂議員

半原水源地跡地の観光振興

問 まちづくりを効果的に推進するために、観光振興が大変重要な役割を担います。そこで、横須賀水道半原水源地跡地の観光拠点としての役割について伺います。

町村との連携など、さまざまな観光施策の推進に努めています。

さらなる観光客 町全体の拠点に

町長 町の活性化を図るうえで観光の果たす役割は大変重要です。町観光協会ホームページの全面的リニューアル、近隣市

半原水源地跡地の観光拠点としての役割については、さらなる観光客の誘致、そして観光と連携した産業振興、雇用の創出につなげ、町全体の観光拠点として位置づけ、観光レクリエーションの場としてのブランド力を高めていく大きな役割を担っているものと認識しています。



夜の第一号公園テニスコート

マルエツ前町道 路上駐停車防止



熊坂 崇徳議員

問 マルエツ中津店前の町道は、駐停車が多く通行の妨げになっています。そこで、路上駐停車防止等に係る警察との連携について伺います。

署の監視重点路線 合同のパトロール

町長 この区間は駐車禁止区域であり、厚木警察署の駐車監視重点路線に指定されています。町では、啓発看板の設置をはじめ、厚木警察署との合同違法駐車追放啓発パトロールなど、ドライバーへの注意喚起に努めています。



マルエツ中津店前の啓発看板

下六倉の雑草火災防止

問 平成28年末から下六倉の雑草火災が頻発しており、日々の生活に不安があります。今後の火災防止対策について伺います。

夜間に巡回警備 関係機関と連携

町長 現場は、交通量の多い県道沿いであることや、近隣には事業所が立地していることなどを考慮して、被害を出さない適切な火災防御活動を行

うために雑草火災対応計画を作成するなど、初動体制に万全を期しています。また、夜間に巡回警備を行い、火災予防に努めているほか、厚木警察署においても消防本部と連携し、現場付近のパトロールを実施しています。今後、関係機関と連携を図りながら、火災の未然防止に努めていきたいと考えています。
〈その他の質問事項〉
役場庁舎裏広場の利用及び道路整備について

個人総括質疑

4日目の3月7日は、

補正予算議案に対し、井上博明議員、鈴木信一議員、山中正樹議員、阿部隆之議員、佐藤りえ議員が質疑を行いました。

内容の一部を紹介します。

○水源環境保全再生市町村交付金減額

・水源環境保全再生市町村補助金との組み換えの詳細について

○保険財政共同安定化事業抛入金減額

・C型肝炎が落ち着いたとの説明であったが、詳細について

○要保護・準要保護生徒就学援助事業費増額

・増額の詳細について
○定住促進事業費増額
・増額の詳細について



会派代表質問

5日目の3月8日は、町長の施政方針、新年度予算議案に対し、会派代表質問を行いました。内容の一部を紹介します。

問 任期の最終年度となる平成29年度の町長の政治姿勢について伺います。

町長 これまで以上に町民皆さんの声に耳を傾けながら、さまざまなニーズに柔軟に 대응することを念頭として、少子高齢化が進む中で、人口減少に歯止めをかけ、地域の活性化を図ります。また、安心して子どもを産み育て、そして老後も生き生きと暮らせるまちづくりを推し進めていきたいと考えています。

問 地方創生の具体的な取り組みについて伺います。

町長 国や県の取り組みに準じ、今後5ヶ年の目標や具体的な施策などを示す町総合戦略を策定し、推進しています。平成29年度は、地方創生をさらに進化させる年と位置づけ、重点課題としての地方創生に配慮した予算を

編成しました。

創業者支援セミナーなどの開催や、新婚生活支援事業の創設、小学3年生から中学3年生までを対象とした土曜寺子屋の支援、未病対策を含めた健康づくりの取り組み強化、日本郵便株式会社と連携した全国初のトータル見守りサポート事業の施行など、さまざまな事業を行い地方創生のさらなる推進に努めていきたいと考えています。



健康づくりの取り組み強化

問 平成29年度実施予定の宮ヶ瀬ダムナイト放流の実施内容の詳細について伺います。

町長 平成28年11月に試行的に宮ヶ瀬ダムナイト放流を実施し、参加した町民の皆さんを対象にアンケート調査を行ったところ、「夜間での放流は迫力が感じられてとてもよかった」、「今後ともぜひ実施してほしい」という好意的な意見が多数寄せられ、平成29年10月に本格的に実施する予定としました。



ナイト放流が本格実施される宮ヶ瀬ダム

実施にあたっては、ライトアップをカラー照明に変更するとともに、会場内にBGMを流すなど、イベントの演出にも工夫を凝らしていきたいと考えています。

問 マーケティング推進班を広報広聴班に統合する効果について伺います。
町長 これまでの広報広聴とシティプロモーション活動を本格化させるために、広報とマーケティングを統合し、より効果的な広報戦略を進めていくこととしています。

今後、広報紙やホームページ、PR動画などのさまざまな媒体を活用した情報発信機能が強化され、地域経済の活性化をはじめ、知名度、イメージアップやシティセールスに係る戦略について、より一層施策推進が図れるものと期待しています。

日本共産党愛川町議員団

小林 敬子 議員

問 町税収入の見込みについて、減収の要因と、税込確保策について伺います。

町長 税込減の要因は、生産年齢人口の減少等の影響に伴う給与所得の減少によるものや、町内の一部大手企業の業績低迷等により大幅減収となるものです。

こうした状況から課税と徴収の両面の取り組みにより、町税収入の安定的な確保に努めていきたくと考えています。

問 資源化対策の新年度の取り組みについて伺います。

町長 平成28年度から新たに購入費補助を開始した生ごみ処理機愛川キエーロについて、さらなる普及を促進していきたくと考えています。子どもたちへの環境教育と町民皆さんの環境意識の向上を図るため、愛川キエーロを保育園や小学校、公

新風あいかわ

佐藤 茂 議員

問 平成29年度予算編成で、「地方創生と健康、子育て、教育に配慮した予算」にした理由について伺います。

町長 町の総合計画、総合戦略、そして町民皆さんのさまざまなニーズに応えることを念頭に、人口減少に歯止めをかけ、地域の活性化を図るとともに、安心して子どもを

公明党

井出 一己 議員

問 若い世代を対象にした平成29年度の主な事業について伺います。

町長 結婚に伴う新生活を経済的に支援するため、新生活生活支援事業を創設し、少子化対策や移住・定住の促進を図る方策を講じていきたいと考えています。また、保育園待機児童解消に向けた低年齢児の定員枠の拡大、そして中学3年生までの小児医療費助成事業など、子育て支援の充実を図る施策を実施します。

さらには、新たに愛川高校と連携して、初期消火活動や救急救命処置を担う「愛川高校ファイヤーガードクラブ」を設置し、地域防災の意識高揚と人材育成を図るなど、若い世代に対する支援や、持続可能な地域コミュニティの構築に取り組んでいきたいと考えています。

問 自然災害に備えた平成29年度の主な事業について伺います。

町長 平成28年度に中止した総合防災訓練を実施し、地域住民の防災意識の向上を図るとともに、防災関係機関との連携強化に努めていきます。ハード・ソフトの両面から、自然災害に備えた防災・減災対策を図るとともに、関係機関と連携し、安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいきたいと考えています。



町のイベントでも積極的に愛川キエーロをPR

産み育て、生き生きと暮らせるまちづくりの歩みを後退させてはならないとの強い思いから、これまでの取り組み等を重視し、地方創生と健康、子育て、教育に配慮した予算を編成しました。

問 ひとり暮らしの高齢者や障がい者世帯などへのごみの戸別収集事業の具体的な内容について伺います。

町長 ごみを出すことが困難な高齢者世帯等に対し、戸別に訪問をして、ごみを収集するとともに、安否確認を行います。利用者には、あらかじめ任意の袋で分別をしていただき、町が貸与する戸別収集ボックスの中に収納し、玄関先等に出していただきます。

収集日にごみが出されていない場合、回収作業員が声をかけて、安否の確認をします。



自主防災訓練のようす

各常任委員会での質疑要旨

総務建設常任委員会

問 ドローン購入事業費の詳細について

答 ドローンで上空からの動画や写真を撮影し、町の魅力を効果的に町内外に伝えるほか、人が立ち入ることのできない危険な場所などを近距離から撮影することができ、ため、台風や集中豪雨、地震などの災害発生時の情報収集にもドローンを活用します。予算は、購入

費用で27万7千円、講習会負担金及び旅費で3万1千円、合計で30万8千円です。

問 防災訓練事業の詳細について

答 地域住民の防災意識の向上や防災関係機関との連携強化のため、平成28年に中止となった総合防災訓練を改めて実施することとしました。実施期日は、平成29年9月3日(日)に下箕輪消防訓練場での訓練を予定して

問 行政区からの道路改良要望の採択率について

答 平成28年4月の区長会議において、平成29年度の土木要望の取りまとめをお願いしたところ、20件の道路改良に係る要望をいただきました。平成29年度には、この内12件を予算計上し事業化する予定であり、その採択率は60パーセントとなっています。

教育民生常任委員会

問 福祉センター内に設置される売店の詳細について

答 愛川町社会福祉協議会と連携し、福祉センター1階ロビーに売店「希望(のぞみ)」(仮称)を設置するものです。平日の午前9時から午後4時までを営業時間とし、「愛川町ありんこ作業所」に通所している知的

障がい者の方1名と、補助職員1名をそれぞれ臨時職員として雇用する予定です。

本事業は、障がいのある方の雇用場を作ることで、働く意欲を養うこと、社会参加を促進することなどを目的に設置をするもので、食料品や雑貨品等の対面販売を考えられています。

なお、開設の時期は、平成29年8月頃を予定しています。

問 高齢者運転免許自主返納支援事業の詳細について

答 自動車等の運転に不安を持つ高齢者が、自主的に運転免許証を返納しやすい環境を整備し、高齢運転者による交通事故の減少を図ることを目的として実施するものです。対象者は、本町に住所がある方で、運転免許証を平成29年4月1日以降、自主的に返納された75歳以上の方です。内容は、1人1回に限り高齢者バス



教育民生常任委員会で愛川聖苑を調査

割引乗車券(かなちゃん手形1年券9,850円)の購入助成券と、町内循環バスの回数券(50回分5,000円)をセットにして交付するものです。

問 若き演奏家たちによるクラシック演奏会の詳細について

答 平成29年5月27日(土)の午後3時から、音楽を学んでいる高校生4名による演奏会を古民家山十郎で開催し、若者の文化艺术活動を支援するとともに、改めて、地域資源としての古民家山十郎の魅力を創造し、町内外に発信していくものです。

邸内では、演奏会にあわせて愛川ブランド認定茶菓を提供します。会場を訪れた方に、クラシック音楽を聴いたり、愛川ブランドを楽しむなど、古民家の雰囲気を楽しんだり、フレッシュな演奏会を味わっていただきたいと思います。



総務建設常任委員会で三増501号橋を調査

討

論

条例・新年度予算

最終日の3月24日には、5会派による討論が行われました。内容の一部を紹介します。



新たにPPSを導入した三増公園

賛成
(愛政クラブ) 小倉 英嗣議員

愛政クラブを代表して、生推進事業費では、基本要望を交えながら賛成の立場で討論を行います。庁舎等維持管理経費、電力料金等の光熱水費では、PPSを積極的に活用した電力料金の削減の取り組みについて、高く評価します。新たに中津公民館と三増公園が契約を締結したことで、東京電力との比較では年間3,500万円の削減が見込まれるとのことです。まち・ひと・しごと創

成推進事業費では、基本構想策定を受けて、平成29年度は基本計画の策定に着手することになります。策定にあたっては、関係機関や町議会、愛川地区まちづくり協議会と協議しながら進めていくことについて評価します。国保会計では、薬剤費の削減が大きな課題です。安全が証明されているジェネリック医薬品の普及促進に向けて、なお一層の努力をお願いします。

賛成
(みらい絆) 木下 眞樹子議員



ふるさと納税しやすい工夫を

みらい絆を代表して、意見と要望を交えながら賛成の立場で討論を行います。

町職員の各種研修について、この町を少しでも暮らしやすい、住んでよかったと町民の皆さんに思っていた、ただけるような町にするために、町長と全職員が総力を挙げて運営に邁進していただきたいと考えます。各研修が工夫して行われることで、よい結果が出ることを期待します。

ふるさと納税制度については、町に寄付される額より他の市町村に寄付することで受けられる税控除の額が若干増えているとのこと。そこで、返礼品を一つの箱に詰め合わせるなど、家族が少人数でも寄付しやすくなる工夫をしていただくようお願いいたします。

防災対策費では、防災資機材の備蓄は少しずつ整備されることでした。町民に安心を与えることと評価します。

賛成

(日本共産党愛川町議員)

小林敬子議員

日本共産党愛川町議員
団を代表して、賛成の立
場で討論を行います。

歳入では、ますます厳
しい状況になります。歳
入の確保については、
国・県のさまざまな補助
金を活用するなどの取り
組みで、安定した財源の
確保に努めていただきた
いと思います。

歳出では、高齢者福祉
については、ひとり暮ら
し高齢者等見守りサポー
トモデル事業が試験的に
導入されますが、いずれ
他の行政区にも広げると
のことで、大いに期待し

ます。

健康づくり推進事業に
ついては、平成29年度は
健康ポイント事業が開始
されます。町の特定健診
や体操教室、寿大学など
様々なイベントに参加す
ることでポイントがつく
ことは、町の健康事業へ
参加するきっかけづくり
になると思います。

空き家対策では、空き
家情報のデータベース化
がされることを評価しま
す。今後のデータの活用
により空き家活用が図ら
れることを期待します。



体操教室で健康づくりを推進

賛成

(新風あいかわ)

渡辺 基議員



引き続き小中一貫教育推進事業を実施

新風あいかわを代表し
て、賛成の立場で要望を
交えて討論を行います。

小中一貫教育推進事業
については、学力向上、
いわゆる中一ギャップの
解消等を目的として、平
成28年度から全小・中学
校を対象に取り組んでい
ます。学力向上、中一ギャ
ップの両面について、より
周知が必要と考えます。
広報広聴事業については
は、移住定住促進スマホ
サイト「ポケットに愛川」
制作事業並びに動画コン

公明党を代表して、意
見等を交えながら賛成の
立場で討論を行います。
歳入では、根幹である
町税の増収が見込めない
厳しい財政状況の中、今
後の財政運営を考慮し、
財政調整基金からの取り
崩しを最小限にとどめた
努力が伺えます。

歳出では、交通安全対
策については、本町は現在
900日以上、死亡事故
ゼロを続けています。新
規事業として、13歳未満
の幼児・児童を対象に、
自転車用のヘルメット購
入の一部助成により装着

国民健康保険について
は、いよいよ平成30年に
財政運営責任主体が県へ
移行します。神奈川県で
は、県内統一の保険料率
とはせず、県が示す基準
を参酌し、町が独自に決
定することとされていま
す。保険料について、町
民が納得できる結論をお
願いします。

賛成

(公明党)

岸上 敦子議員

を推進されることを評価
します。

少子化対策の推進とし
て、新たに高峰・春日台
保育園の0歳児・1歳児
クラスの定員枠を拡大し
たことを評価します。

農林水産業費について
は、青年就農者や農業従
事者に対する各種支援を
引き続き実施し、遊休荒
廃農地では、企業等の参
入による先端技術を活用
した農業経営の実現に向
けた調査・研究を進める
ことで、有効な利用促進
等が図られるよう期待し
ます。



新たに定員枠を拡大した春日台保育園



活発な意見交換が行われました

意見交換会を実施

町議会では、「町民に開かれた議会」を推進するため、愛甲商工会との意見交換会を実施しました。貴重なご意見、ご提案をいただき、ありがとうございました。

開催実績及び内容

平成29年1月17日(火)
愛甲商工会 16人参加
〈テーマ〉

- ・「議会活動状況報告」
- ・「愛甲商工会活動状況報告」
- ・「意見交換」

No.	意見・要望等要旨	当日の回答
1	第5次愛川町総合計画後期基本計画の目玉は何か。	今回の計画のポイントは、人口の想定について前期の中では4万3,000人と予測していましたが、4万500人に下方修正しました。「ひかり、みどり、ゆとり、協働のまち愛川」という将来都市像や、施策大綱等については前期の基本計画を踏襲しています。人口が大きく減少していく中で、少子化対策、そして健康、高齢者の施策などを充実させるといった内容になっています。
2	平成26年度から国が「まち・ひと・しごと創生総合戦略」をスタートし、すでに2年が経過している。こういった国からの事業を受けて、今、町議会として若者の転出の問題や子育て支援の問題に対してどういった考えがあるのか。	若者の転出の問題は、交通の不便さが一番の要因になっていると考えていますので、交通問題対策に引き続き取り組んでいきたいと思ひます。また、本町は、中学校3年生までの医療費の無料化や結婚から子育てまで切れ目のない事業を実施するなど子育て支援施策が充実しています。こうした施策等を通じて、議会においても住みよいまちづくりを促進していきたいと考えています。
3	県道65号は愛川町のメインの道路だと思うが、歩道がない箇所もあり、整備が非常に遅れている。こういった道路を整備しなければ、人は集まってくれないと思うので、人が自然と集まってくるようなまちづくりをお願いしたい。	道路の重要性については十分認識をしており、町としても神奈川県に対し要望をしています。県道の交差点の改良や拡張といった事業については、引き続き議会としても取り組んでいきます。また、国や県への要望についても、町と連携して進めていきたいと思ひます。
4	今回、教育民生常任委員会で広島県へ視察に行ったという話があったが、視察してきたことを愛川町でも実施して効果に結びつけていただきたい。	行政視察は、先進地の優れた業績を本町でも生かしていくために実施しています。学んできたことは、今後の一般質問や質疑などを通じて効果的に結びつけていきたいと思ひます。
5	議会だより編集にあたって、苦勞している点について	一番苦勞するのは一般質問の見出しです。その見出しを見れば、中身が全てわかるように、また、紙面の整合性なども意識し、どうすれば読者に一番伝わるのかを考えながら編集をしているので大変苦勞しています。
6	宮ヶ瀬ダムの整備時、立ち退き者に対し、ダムで発電した電気を地元へ安く提供したり、また、企業を誘致した場合は、その企業に対し電気料金を安くするというような話が出たことがあったが、そういった話はないのか。	当時、地元要望があったと伺ってはいますが、議会としての活動はしていません。
7	愛川町議会基本条例について、新しく議会議員になられた方が、どのくらいの時間をかけてこの基本条例を理解しているのか。	議会基本条例については、専門用語などの難しい部分がありましたが、少しずつ言葉にも慣れてきました。条例の検証及び見直しの検討も行っており、所属している会派での議論や、他市町村との比較を行うなど理解を深めています。これからも継続して勉強し、議会活動に生かしていきたいと考えています。
8	いつ今地震が起きてもおかしくない時代であり、町では地震対策をどう考えているのか。	地震・風水害に対処する基本的な町の計画は、地域防災計画によって定められています。災害、特に地震については議員もそれぞれ高い関心を持っていますが、さらに思いを深くして、これからの議会活動に邁進していきたいと思ひます。



町議会ホームページに掲載しています。

平成28年度に実施した意見交換会におけるご意見・ご要望を精査したうえで、議会において検討するべき内容として3項目を選定し、協議検討を行いましたので、結果を報告します。

また、町へ申し入れを行うべき内容については、平成29年4月5日(水)に小野澤町長へ申し入れ書を提出しました。

なお、申し入れ書は、町議会ホームページに掲載しています。

ご意見・ご要望への対応状況

No.	いただいたご意見、ご要望等	議会において検討すべき内容	今後の方向性・検討結果等
1	危機管理室について、外部から専門性を持った方を招聘して、どこの組織にも属さない独自の運営ができるよう、議会で発言し、取り組んでほしい。	危機管理室の運営について、方針を検討すること。	危機管理室は、平成27年度より危機管理体制の強化策として、既存の部に属さない副町長直轄の新たな組織として設置されました。その運営方法については、議会でも、以前より、一般質問等を通じて専門性を持った危機管理監を登用するよう要望をしているので、今後においても引き続き取り組んでいきます。なお、平成28年度より、指導的な役割を担うために、前消防長が再任用職員として配置されています。
2	議員である以上、町民を不安がらせるような言動は差し控えていただきたい。前回の意見交換会終了後に、「来年は参加しないでほしい」と言われた。議員としての資質に欠けると思ひます。	「愛川町議会議員の政治倫理に関する申し合わせ」に基づき、議員の政治倫理の確立を図ること。	議員が自ら守るべき倫理基準を定め、これを明文化することにより、町民と議員との信頼関係を形成する基盤とするため、議会運営における本町の最高規範である議会基本条例に「議員の政治倫理に関する事項」を新たに規定し、さらなる議員の政治倫理の確立を図ることとしました。
3	前回の意見交換会の要望について、町からの回答が抽象的であったため、具体的な回答を受けるようにしてください。	要望に対する対応状況等の回答方法について見直しを検討すること。	ご意見を参考にし、町からの回答を具体的に掲載することとしました。議会においても、意見交換会で町民に分かりやすい報告ができるよう取り組むとともに、引き続き、ホームページや議会だよりにより具体的な対応状況等を掲載するよう努めていきます。

ご覧ください
会議録

議会だよりは、紙面の都合により、発言の一部を掲載しています。

詳しくは下記の町公共施設に備え付けてある「会議録」をご覧ください。

なお、3月定例会の会議録は、6月中には備え付けができる予定です。

また、町議会のホームページで平成11年以降の会議録がご覧になれます。

次回定例会

次回、6月定例会は下表のとおりです。会議はいつでも午前9時から開会します。また、本定例会の運営を協議する議会運営委員会は、5月23日(火)に開催予定です。

日程が変更になる場合もありますので、詳細は議会事務局にお問い合わせください。町ホームページでもご覧になれます。

平成29年 第2回6月定例会日程 (予定)

月	日	曜	会議名
6	1	木	本会議 (提出議案の説明)
	5	月	本会議 (一般質問)
	6	火	本会議 (一般質問)
	8	木	総務建設常任委員会
	9	金	教育民生常任委員会
	14	水	本会議 (総括質疑、討論、採決)

施設設置会議録

- 役場町政情報コーナー
- 半原出張所
- 中津出張所
- 福祉センター
- 文化会館図書館
- 農村環境改善センター
- 半原公民館
- 中津公民館

議会だよりは、録音ボランティアグループ「かえでの会」のご協力により、視覚障がい者用に音声テープ化されています。

ご希望の方は、社会福祉協議会へご連絡ください。
(内線3792)

第2回
議会クイズの
答えと当選者

前回の第2回議会クイズは13名の方から応募があり、うち11名の方が全問正解しました。正解と当選者は次のとおりです。

〔正解〕
問1ー③6年生
問2ー①呉市
問3ー②34年度
〔当選者〕
日原 久幸 様
齋藤 紀子 様

第3回 議会クイズ

- 問1 総務建設常任委員会で行政視察を実施しました。「ゆめ・みらい百人会議について」の視察場所は何県何市でしょうか?
① 静岡県浜松市 ② 静岡県三島市 ③ 静岡県島田市
- 問2 「町民に開かれた議会」を推進するため、愛甲商工会との意見交換会を実施しました。開催日は平成29年1月何日でしょうか?
① 16日 ② 17日 ③ 18日
- 問3 議会だよりは録音ボランティアグループのご協力により、視覚障がい者用に音声テープ化されています。グループ名は何でしょうか?
① さくらの会 ② つつじの会 ③ かえでの会

この議会だよりの中に答えがありますので、最初から最後までよく読んでみてください。全問正解者の中から抽選で3名の方に、商品券をお贈りします。

《応募方法》 町内在住の方で、1人1通に限ります。答え・住所・氏名・年齢・電話番号、また、必ず議会だよりの感想をご記入のうえ、下記あて先のいずれかの方法で応募してください。

《しめきり》 5月31日(水) (郵送の場合は当日消印有効)

《あて先》 ●はがきの場合 〒243-0392 角田251-1 議会事務局
●ファクスの場合 046-286-5021
●電子メールの場合 gikai@town.aikawa.kanagawa.jp

☆正解と当選者は次号で発表します。



編集後記

3月定例会は、新年度予算などの審議を中心に開催され、一般質問や個人総括質疑、会派代表質問、常任委員会などで活発な議論が行われました。

新年度を迎え、町議会としても気持ちを新たに、住民福祉の向上のため、邁進していきます。

議会クイズも今回から当選者を3名に拡大しました。多くの方からの応募をお待ちしています。

今後も、より身近に感じられる議会だよりの発行へ向けて、委員一同努力してまいります。

- 議会だより編集委員会
- 委員長 馬場 司
 - 副委員長 熊坂 崇徳
 - 委員 阿部 隆之
 - 委員 岸上 敦子
 - 委員 鈴木 信一
 - 委員 山中 正樹